

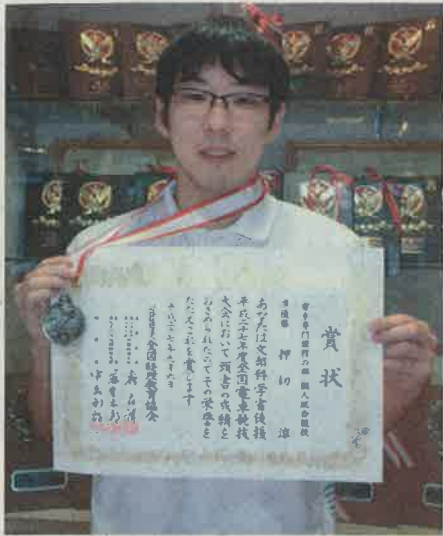


# 押切さん 全国2位

## 簿記電卓 6年ぶり入賞

東京都で6日開かれた全国簿記電卓競技大会の電卓の個人総合競技・専門過程で、郡山市の郡山情報ビジネス公務員専門学校経営流通ビジネス科2年の押切涼さん(20)が準優勝に輝いた。同校の学生が同大会個人で入賞したのは6年ぶり。学校関係者は喜びに沸いている。

賞状を手にし準優勝を喜ぶ押切さん



押切さんは「結果は素直にうれしい。いつも通り平常心で臨んだことが結果に結び付いた」と喜びを語った。「競技を通して培った我慢強さや集中力を今後に生かしていきたい」と話した。指導した教員の高田明日香さんは「学生の目指す目標になった。努力を積み重ねた結果」とたたえた。

「仲間と切磋琢磨して民話の良さを伝えていきたい」。郡山市の語り部須田千代子(62)、伊藤ヒサ子(74)、岡部妙子(60)の3人は、同市のJR郡山駅2階待合室の「おばあちゃんの民話茶屋」で8月29、30の両日、NPO語りと方言の会が開いた「夏の民話祭」に出演し、充実感を漂わせた。

須田と伊藤は、同会の大人語り部講座を受講してから、語り部としての活動を始めた。岡部は2001(平

## 尺八で復興応援 豪のアンさん

尺八奏者のアン・ノーマンさん(オーストラリア)は3日、郡山市の郡山ザベリオ小を訪れ、児童に心を癒やす尺八を届けた。

アンさんは、2013(平成25)年に同校でのコンサート開催のため来校してお

県内の風景画などを展示している写真展「開成柏屋

風情あふれる力作が並ぶ会場「ビッグアイ

問い合わせは事務局(橋本さん、電話944・6283)へ。

## 民話の良さを伝えたい

### 話術を磨く語り部の3人



「子どもたちに語り継いでいきたい」と話す(右から)須田さん、伊藤さん、岡部さん

成13)年に行われた「うつくしま未来博」に語り部として出演した経歴を持つ。3人は、民話祭などで地域



岡部は「語り部話を話しても継続伝わり方が違う」奥深さを語る。3回の勉強会で、伝を学んでいる。須を語る上で大事なのは、現地に向「情景を思い浮かで民話をより一層とができる」と話3人の目標は、担う子どもたちにり継いでいくこときる力、思いやり民話から学ぶこと多くの子どもたちにきたい」。(敬

聞き入っていた。同校のホールでミニコン

サートも開かれ、りを見せた。

